臨時議会

下水道工事契約 国保税条例改正等 可決

八月六日、今年第一回の臨時議会が招集され、会期一日間で下水道工事契約、国民健康保険税条例一部改正などいずれも原案どおり可決されました。

このほか、当日審議、可決した案件は、昭和五十七年度一般会計（専決）及び国保会計補正予算、水道事業受益者負担金に関する条例制定、道路整備に関する請願書です。

なお、可決された主な議案の概要は次のとおりです。

国民健康保険税条例の一部改正

地方税法改正と保険税本算定に伴う条例の一部改正で、今年度からの保険税関係が次のように改正されました。

※保険税賦課限度額
　三六万円が三七万円に

※保険税率等
◎所得割額　4.05/100が　4.38/100に
◎資産割額　29.41/100が　28.34/100に
◎被保険者均等割
　六、一九〇円が六、六三〇円に
◎世帯平等割
　二、六三〇円が三、八三〇円に

※保険税軽減措置
◎所得が少なく一定の基準を超えない世帯には、二段階に分けて左記のように軽減。
△六割軽減
　均等割（一人当り）
　　三、二六円が三、七四四円に
　平等割（一世帯当り）
　　二、三三〇円が二、九八円に
△四割軽減
　均等割（一人当り）
　　三、二三円が三、四九六円に
　平等割（一世帯当り）
　　七、五六〇円が八、六三二円に

下水道事業受益者負担に関する条例制定

一平方メートル二三四円

この条例は、三月定例議会に提案、建設常任委員会に付託となり以来、当該委員会は亀田町、新津市の下水道事業の事務調査等を行った結果、原案適当と認め、今臨時議会に報告、可決されました。

※条例の概要

負担区域
　都市計画法による市街化区域を告示で定める。

負担金の額
　受益者が告示現在に所有する土地の面積一平方㍍当り二三四円を乗じた額。

受益者
　告示された区域内の土地の所有者。ただし、地上権が目的の土地は権利者または使用借主、賃借人。

賦課対象区域
　負担区域の中から工事の進捗状況により供用開始となる区域を告示で定める。

負担金賦課と徴収・納入
　受益者ごとに算出した額を賦課し、負担額と納期を通知。負担金は五年に分割（各年度四期徴収）して徴収一括納入もできる。

負担金の徴収猶予
　受益者が納期限内に納入が困難な事情あるいは災害その他の事故などが生じ、その必要が認められる場合。

負担金の減免
　国、地方公共団体が公用に供している土地や生活保護法の生活扶助を受けている受益者。その他特に減免することが必要と認められる土地の受益者。

延滞金
　負担金を納入期限後に納付する場合、当該納付額について年十四・六％（最初の一月は七・三％）の割合の延滞金を負担金に加算して徴収。

前納報奨金を考慮
　下水道事業受益者負担金条例制定に伴う施行細則は、今検討中ですが、負担金一括納入などの前納に対する報奨金制度を考慮しています。

木津・川根谷内間の道路整備請願書

建設委員会に付託

この請願は、木津、川根谷内両地区の土改分区長、各区長から出されたもので、やがて完成する小阿賀橋と一連の交通体系や環境の変化に対処するため、小阿賀橋取付道路終点から川根谷内の国道四十九号線につながる道路整備が、両地区の最重要課題であるとし、これが整備に付帯農道への採択を願うものとなっています。

また、この効果として両地区民の交通至便、朝夕の新津新潟間の混雑解消、三号用水路の改修などを挙げています。

本件は、継続審議として建設常任委員会へ付託されました。

工事契約の締結

賛成多数で可決

本件は、公共下水道管渠布設工事で内容は、三工区からなり各工区ごとに契約を締結するものとなっており三工区合せ五三九・八㍍に六〇〇～七〇〇㍉の下水道管を布設するものです。

本件中、「……第二工区は新潟日報への通報どおり藤田建設が三千七百三十五万円で一回目の入札で落札した……云々（7/31付 新潟日報）」が取りざたされ審議は、談合の有無やその対応などに論議が交されました。

結論を急がずもっと審議を重ねるべきだなどの意見もありましたが、結局採決の結果、三件一括賛成多数で可決されました。

なお、本件の提案に際して村長は、新潟日報から入札当日電話通報があったことに対し「入札執行の最中に電話があったもので、入札終了後直ちに関係者を呼び真偽を質すとともに即、積算書の提出を求め、検討の結論が下るまで契約を一時保留して検討。その結果、通報の事実は把握しかねるとして落札どおり契約した」との説明が行われました。

契約工事概要は次のとおりです。

主な請負事業の入札結果

今臨時議会に報告された主な請負事業（契約議決以外）入札結果は、次のとおりです。

入札結果

入札月日	指名業者数	工事名	落札業者	落札額
57年6.28	7	前郷道路改良工事（藤山）	横越村 ㈱田中組	万円 2,240
7.7	6	配水管布設工事（沢海）	横越村 伊藤組	730
7.23	7	前郷農道舗装工事（藤山）	新潟市 ㈱加賀田組	680

流域関連公共下水道管渠布設工事請負契約等概要

工区	契約方法	契約金額	工期	工事概要	請負者
1—2工事（川根谷内 袋津用水沿）	競札 指名 争入	万円 6,080	180日 8/6～2/1	施工延長 247.5㍍（径700㍉）177.5㍍（〃600）70.0	横越村 遠藤組
2—2工事（川根谷内 大曲から 袋津用水沿）	〃	3,735	160日 8/6～1/12	施工延長 161.3㍍（径600㍉）	亀田町 藤田建設株式会社
4—2工事（川根谷内 旧県道）	〃	3,100	150日 8/6～1/2	施工延長 131.0㍍（径600㍉）	新潟市 株式会社加賀田組

入札に指名された業者数1—2工事8業者、2—2工事7業者、4—2工事7業者

お母さんもいっしょ

楽しい合宿

—ひまわり教室—

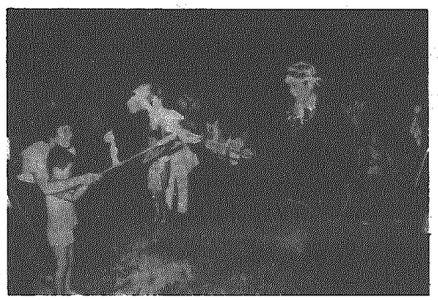
ひまわり教室（療育事業）では、共同生活を通じて子どもたちの集団性を養う目的で八月十九、二十日、公民館で一泊二日の合宿を行いました。

合宿に参加したのは、八名の子どもにそのお母さんたちと指導に当った児童相談所、ボランテア、役場担当者らです。

昼の行事は、規律正しい生活をキチンと行う一方、その合間にプールでの水遊び、ゲーム、うたなどで過し、夜は、お楽しみのキャンプファイヤーが行われました。

キャンプファイヤーには、子どもたちの慰問と関係者のねぎらいに訪れた渋谷村長は、火の神に紛して現れたいまつをかざして「火と人間」の話をして、子どもたちのたいまつに一人ひとり点火しました。

子どもたちは、厳粛な行事にちょっぴり緊張ぎみでしたが、ひょうきんな火の神にすぐなごみ高く積んだ薪にみんなで点火すると、炎は、中学校グランドの天高く燃えあがりました。これを囲んで「森のくまさん」などの合唱をしたり、フォークダンスで夏の夜の祭典を楽しみました。



子どもたちに愛の火を点火する渋谷村長

作業停電

◎9月30日　午後1時～4時

◎日東団地全部と
　川根谷内の一部

横丁話

「クツワ虫」

〝アレ、松虫が鳴いている。チンチロ、チンチロ、チンチロリン。〟という歌を小学校時代に教わった事をなつかしく思い浮かべながら、月の明るい夜、庭の草花の根元で鈴虫や、コオロギ、キリギリスなど、「われこそは、世界一のバイオリニストである。いや、チエリストである。」かのように高く澄んだ美しい音色を聞かせてくれるが、キリギリス科のクツワ虫の鳴く「ガチャ、ガチャ」と、いう虫の音は、お世辞にもさえた音色とはいえない。

ところで、「くつわ」というのは、馬につける道具の一つであるという事は皆さん知っておられる事で、今さら説明をしようとは思いませんでしたが、若い人などに、馬のどの部分に使用するものか？と聞いてみると、意外と、馬のヒズメにはめるものではないだろうか。と答える人がいるのに驚く、もちろん、あれは、たづなをつける為に、馬の口にはめる金の事である。

「口の輪」「轡」クツワというわけであり、クツワ＝靴輪という連想から自然に思い浮かんだのではないかと思う。どうもその点から足の輪という様な考えをもつのだろう。

第六十四回全国高校野球選手権大会も、池田高校（徳島）と広島商業（広島）の決勝戦が八月二十日の午後零時半から始まり、池田高校が12対2で大勝して幕をとじたが、その一回の表の池田高校の攻めは、簡単に二死をとった後に、満塁、そして、押し出しの一点の後、七番バッターの打った二塁打で、満塁のランナーがいっぺんにホームインした時には、「クツワを並べて一人、二人、三人とホームイン」などという形容のアナウンスが昔聞かれたものであったが、これなども、口というより、足がいっせいに、なだれこんだ感じがする。

どうもこれは誤解をまねきやすい語感をもった言葉であり、外人が「日本語は大変むづかしい。」というのも無理もない様に感じる。

（山崎）

台風十号のつめあと

水稲や果樹などに 四億七千万円の被害

七月三十一日夜半から県内を吹き荒れた台風十号は、農作物を中心に大きな被害をもたらし、これから収穫期に入る水稲などにこの影響が心配されています。

本村も、この台風の影響で水稲、果樹、畑作物など広範囲な被害がありました。

強風で落下したナシ（二本木地区）

役場経済課の調べによると農作物の被害総額は四億七千四百九十万円余にのぼり被害の最も大きいのが水稲で丁度出穂時期が重なった早稲は白穂や黒穂現象が出ており、これらの被害を推計すると三億三千五百七十万円にものぼっています。

一方、果樹の被害も大きく二本木、木津地区のナシの被害面積は、全体の三十五％に及び、桃やブドウの被害を加えると被害額は八千八百万円にもなり水稲に次ぐ被害となりました。また畑作地帯の沢海地区でもサトイモ十㌃、（全体の四十％）長いも三㌃（全体の十％）余が五千百万円の被害を受けました。

さわやかな〝汗二題〟

一、小杉地区老人クラブは会館のお盆掃除を毎年続け、関係者から喜ばれています。今年も八月一日早朝、ひと汗を流していました。

二、青少年育成村民会議小杉支部は、楽しいお盆は環境浄化からと、小中学生と役員で八月七日朝六時から中央道や、産業道路などの空缶回収作業をしました。

誰がこんなにと、軽トラック三台に満タンに積まれ、みんなの顔は汗でギラギラ朝日に輝いていました。